

木協インフォメーション

平成28年 1月号



(一社) 香川県木材協会・香川県木材産業協同組合

TEL 087-881-9343

<http://www1a.biglobe.ne.jp/k-mokkyo/>

年頭のご挨拶

香川県環境森林部みどり整備課 課長 松下 芳樹

新年、明けましておめでとうございます。香川県木材協会の樋口会長様をはじめ、会員の皆様方には、本県の木材産業の振興はもとより、森林・林業行政全般にわたりまして、格別の御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、木材の良さの普及啓発はもとより、各種の木材需要拡大の取組に積極的に取り組まれていることに対し、深く敬意を表します。

さて、森林はその公益的機能を持続的に発揮させることにより、県民の安全・安心な暮らしや、快適な生活環境の創造に欠くことのできない役割を担っていますが、現在本県の森林は、利用期を迎えたヒノキ人工林のほか、成熟しつつある広葉樹林など、まさに森林を利用しながら、いかに保全していくかが問われる時代を迎えています。

このような状況を背景に、県では昨年末に、平成28年度からの新たな香川県のみどりづくりの基本方向を示す「みどりの基本計画」を策定いたしました。この計画では「みんなで育て、活かす、みどり豊かな暮らしの創造」を基本目標に、「森林資源の活用と里山再生の推進」、「暮らしを支えるみどりの充実」、「県民総参加のみどりづくり」の三つを新たな施策展開の基本方向とし、市町をはじめ、事業者、民間団体など多様な主体の参加と連携を図りながら、各種の施策の推進に積極的に取り組むことにしています。

また、平成29年秋に満濃池森林公園で開催する「第41回全国育樹祭」については、開催を来年に控え、本年は準備を本格化させる年となります。全国育樹祭の開催は、県民の皆様に改めて森林の大切さ、森林整備の必要性などについて理解を深めていただく、またとない機会であり、これを契機に県民総参加の森づくりをより一層推進し、併せて県産木材木材の利用促進を図りたいと考えています。

これらの取組を着実に進めてゆくためには、貴協会の皆様の御理解と御協力が不可欠であると考えておりますので、今後とも一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

結びに、貴協会の益々の御隆盛と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

(一社) 香川県木材協会 会長 樋口 浩良

新年あけましておめでとうございます。協会員の皆様には、新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、当協会の運営にご理解とご協力を賜りましたことに対し厚くお礼を申し上げます。特に例年開催していますウッドフェスティバルには、ご協力をいただきありがとうございました。香川県産材の普及促進に大いに貢献できたと思われま

す。昨年12月に発表された実質GDP成長率、年間換算で1%増とわずかながら久方ぶりにプラス成長となり、また住宅着工数や有効求人倍率も改善が続くなど、公共投資や個人消費にも前向きな状況が見られる中で、業種や地域で景気の格差が表れているのも事実です。3年目を迎えたアベノミクスも中小企業や地方には恩恵に浴していないと思われま

す。今年は、景気感はやや明るさが表れてくるのではないのでしょうか。このような中、香川県下の木材状況は、急速に進む人口減少の中で、政府は「地方創生」を重点課題として掲げていますが、地域の木材業界の存続・発展こそがその大きな鍵となります。

私たち、企業が真の（地域再生）担い手として、地域と日本経済の発展を図る年に出来ればと考えています。

気持ちを新たに皆様とともにより豊かな木材業界に取り組む所存です。

今年もなお一層のご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

本年が皆様にとって実り多き一年でありますことをご祈念申し上げます。

毎年の先進地視察研修を再検討

11月30日に開催された活性化委員会（竹林光春委員長）・環境委員会（樋口哲也委員長）で、木材産業青年部・香川木青連と合同で毎年2月の上旬に先進地視察研修を実施しておりましたが、諸般の事情により今年の先進地視察研修は中止が決まりました。

委員さんの主な意見として、●2月は参加しにくい ●毎年でなく2～3年に1回でよい ●研修目的を外して会員相互の懇親旅行 ●参加人数が少ない ●県内で各支部持ち回りの1泊2日の懇親会を催したら 等の意見が出ました。

この内容を会長に答申して、協会の理事会に諮り検討することになりました。

事務局だより

フォークリフトの特定自主検査は、法律で1年に1回受けることになっております。まだ自主検査が終わっていない車両は必ず期日までに検査を終わらせてください。

検査のご用命は香川県木材産業協同組合までどうぞ。検査員 松添政志

香川県産材を各市町が建てる公共建築物に積極的に使っていただくために、各支部の役員さん地元の会員のご協力により、12月に高松市をはじめ県下の市町長へ「香川県産材の利用推進について」の要望を行いました。

